

グループホーム 金刀比羅

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		デイサービスと共用ということもあり地域との繋がりをさらに深めていきたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		散歩中、知人の方に会うこともあるので気軽に立ち寄りもらえるよう取り組んでいきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		今後は、推進委員会を設置し交流が図れるよう取り組んでいきたい。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実施していないが地域との連携もあり今後話し合っていきたい。		自治会や学校を通じてグループホームを知ってもらえるような活動をしたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価のパンフレットを回覧し、全員に周知徹底をしている。又、外部評価の結果についてその都度検討して改善している。また、管理者、職員全員で評価表の作成に取り組んでおり作成会議を開き意義の理解に努めている。		新規職員の研修に使用し入職の時から意識づけを行っている。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議やご家族の意見を参考にサービス向上に努めている。		ご家族、職員も今以上に参加できるよう工夫し、多数の意見をケアに反映していきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市や区が主催する研修などに積極的に参加し、事業所内での報告を定期的に行っている。		市町村が主催する研修予定表から抜粋し当事業所の事業計画に反映、常に情報収集し質の向上を目指したい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	高齢者虐待防止に関連し成年後見制度についてパンフレット等を利用し回覧したり会議の場で勉強している。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「高齢者虐待防止委員会」を設置し、定期的に勉強会を行い職員全員、ご家族を含め理解を求めている。		新規職員の研修に使用し入職の時から意識づけをしたい。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	入居前に説明し理解を得ている。契約書も徹底している。		事前の面接や来所、電話により不安なことや疑問に答えている。
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族会、運営推進委員会、面会時の会話などを通じ出来る事は実施している。また、意見箱を設置しており職員も自覚している。		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	面会時にご家族との情報交換を必ず行っている。ケアプラン更新時にも詳しい説明をし、理解を得ている。希望があればケース記録も開示している。		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	職員全員に申し送り、より良いサービスに繋がるよう取り組んでいる。ご家族などの発言を真摯に受け止め反映している。		意見箱を設置しており問題があれば管理者から職員、外部者へわかるように掲示している。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	定期的に自己申告書を配布し職員とのヒアリングを実施している。また全体会議での意見などを反映するようにしている。		法人として開設時より取り組んでおり今後も職員から実施方法の意見を取り入れていきたい。
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	勤務表は職員により作成しており、行事がある場合の人員配置はリーダー同士で話し合い勤務調整を行っている。		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員の異動は最小限にしている。移動時や退職時は入居者の方々に挨拶を行い、新任者は顔を覚えてもらうようコミュニケーション重視の対応で顔なじみが構築出来るよう努力している。		

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	ヒヤリング個人面談を実施し本人の希望や能力が生かせるよう配慮している。		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	全体会議、地域研究会に参加を呼びかけ人権教育に取り組んでいる。		新規職員も入職時から意識づけをしたい。
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	半年間スケジュールを立て、全員が参加出来るように配慮している。働きながら学ぶ、喜びを共有している。		希望する研修会には出来る限り参加できるよう勤務調整は今後も行っていきモチベーションが下がらないよう配慮していきたい。
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	他施設、公共施設での各種研修や他施設訪問などに行きネットワーク作りをしている。また、地域ケア研究会には輪番制で参加している。		リーダー以上の職員も気軽に見学情報交換、収集ができるよう働きかけていきたい。
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	話す機会はあるが、個人で抱えてしまう職員もいる。		親睦会を設置しており定期的に懇親会を開いている。毎月のフロアーミーティングで悩みを共有したり、個別に声をかけ話しをする事で軽減できるように取り組んでいる。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修会に参加した職員により所内勉強会を実施している。また、法人からは永年勤続者へ報奨金の支給や資格取得時に手当を支給するなど、配慮している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている	常時、話しが出来る雰囲気をつくり安心して生活ができるよう努力している。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている	相談室を設置し落ち着いた空間で話せる環境を整えて随時相談を受けられるようにしている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況に応じてデイサービス、ショートステイの利用などの対応を行っている。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬよう徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族の協力をうけながら状況に応じてデイサービスや、ショートステイの利用などの対応を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日の生活で職員が学ぶことも多い。入居者の方々と寄り添い時間を共有することで支え合いの関係を築いている。		勉強会等行う事で新規職員にも意識してもらいたい。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との面会時には出来るだけ十分な情報交換を行い、支え合う努力をしている。また要望にはその都度対応し早期解決を目指している。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の面会時にはゆっくりくつろげる場を提供し、入居者の方の情報交換を密に行うようにしている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や家族の面会は頻回であり、外出外泊も行っている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	声掛けに工夫して手を出し過ぎない様に行っている。1階での合同レクリエーションも多く入居者の方々が孤立しないよう配慮している。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後もご家族の相談を受けたり、関連法人内の紹介も行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご自身、ご家族からの希望や意向を聞きケアプランにあげている。また、定期的にカンファレンスを開いている。		手順書を作成し誰が見ても把握できるよう努めていきたい。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご自身、御家族から生活歴や生活環境等の情報収集を行っている。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々状態観察を行い、ケース記録に記入し、申し送りを徹底している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	認知症対応のセンター方式を採用し御本人、御家族の意見を反映した上で介護計画を作成している。		アセスメントに関してはより深い内容・情報・意見を得るために努力している。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	初回は1ヶ月、通常は3ヶ月の周期で入退院時、介護保健更新時はその都度見直しを行い、作成にあたっている。		毎日の記録と毎月のモニタリングを行い、個別ケアを重視した介護計画書の作成に努めている。
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケース記録やスタッフノートに記録し、情報を共有しながら行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	御自身の体調に応じてがいはく・外出など自由に許可している。また、ショートステイやデイサービスの利用を含め、御本人、御家族の希望に柔軟に対応している。		

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	計画的に地域の小・中学生の受け入れやボランティアの方々からの協力を得ている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	御自身の希望を受け入れ、他法人の医療機関を利用されたり、他事業所との連携を図っている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	推進委員会開催時に包括支援センターの職員も参加していただきご家族にも参加を呼びかけ、多数出席され情報交換をしている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御自身の希望を重視し、適宜受診を行っている。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	毎週専門医の往診があり、報告・連絡・相談により適切な治療を受けている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	診療所と隣接しており、看護師の巡回が組まれているため相談が出来ている。健康管理日誌があり、状態報告が出来るシステムがある。		

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>早期に退院出来るように、医師、ソーシャルワーカー、看護師長などと情報交換している。</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>「重症化した場合における対応に係る指針」を確立している。ご家族と職員全員で協力体制を整えている。</p>		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>医療面は主治医との連携により行い、精神面は家族との協力と共にスタッフが入居者の状態を見極め出来るだけ希望に添うように取り組んでいる。</p>		<p>御家族の希望に添いながら情報提供し主治医、管理者、職員が一丸となって支援していきます。今後も安心して入居生活を送れるよう契約時に誠意をもって説明していきます。</p>
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>御家族、御自身に十分に説明を行った上で話し合い、入居時は特に身体、精神状態の把握に努め住み替えによるダメージを防いでいる。また、住み替えは御本人のレベルや希望に添える所を紹介している。</p>		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーには十分に気を配り、お一人お一人に合った声掛けや対応を心がけ個人情報については決められた場所での保管を実施している。</p>		<p>特に新規職員には、研修を行い意識を高めたい。</p>

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	わかること、わからないこと、できること、できないことの見極めを行い、御一人、御一人にあった声掛けや支援を行っている。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日変わる状況に応じ、御一人御一人のペースに合わせて臨機応変に対応している。		御一人御一人のペースに添うことの重要性を新人職員に伝えるため場面場面で指導を行っている。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎月1回の訪問理美容を実施している。		別に御自身の希望があればその都度ご家族と協力しながら対応して行きたい。
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の食事は準備から片付けまで共に行っている。不定期ではあるがおやつ作りも行い好評を得ている。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	漬物や飲み物お菓子等を好きなきに食べられるようにしている。飲酒される方は居ない。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンシートを利用し、おひとりおひとりの排泄パターンを職員全員が把握している。自尊心を傷つけないように声掛けに工夫し、失敗せずトイレで排泄出来るよう支援している。		

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、時間はある程度決まっているが無理強いしたり急かしたりすることなく、ゆっくり気持ちよく入浴出来ている。		毎日ではないが、夕方にも入浴できるように工夫している。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1日の動きのなかで御本人の状態を観察しながら休息の時間を設けたり夜間眠れない時など、状況に応じて対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	無理のないよう入居者の方々に合った役割を考え、感謝の気持ちを伝えている。また御本人が得意な分野で活躍できる場面作り、達成感を味わってもらっている。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	おひとりおひとりの希望に添い買物に出かけており、小額の現金は自己管理されている。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の方々の希望に添って散歩や買物、ドライブや外食を実施している。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者御自身の希望に添えるよう行い職員が対応できない時は御家族にお願いしている。		

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からのプレゼントや手紙が届いた時は写真を添えて手紙を代筆したり、希望があればその都度、電話をしている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	居室及び屋外以外で御家族、御友人の面会時にはゆっくり過ごせる環境や場所を提供している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束防止委員会」を設置し定期的に勉強会も意見交換会を行い拘束される気持ちを、職員全員が理解できている。		新規職員には研修を実施している。実行委員は、自発的にミーティングを行いその都度報告書をまとめ、管理者に提出している。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の構造上、ユニットの入口のエレベーター前の空間が死角となっており、入居者の安全を確保するために御家族の了解を得て鍵を掛けている。		入居者の方々に閉塞感が生まれないようにこまやかに対応している。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中居室で過ごす時間が多い方には御自身の希望に添いながら居室での会話を行い孤独感を感じないように配慮している。夜間は最長でも2時間おきに巡視を行い安全、安否を確認している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	御自身のプライバシーを大切にしながら持ち物の整理を行うことで注意の必要な物を把握し、御自身、御家族の了解を得たうえで最低の管理を行っている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	何か事故が発生した場合には、「事故報告書」「インシデントレポート」の提出、回覧により職員全員が把握して再発防止に努めている。また、ヒヤリハットはその都度報告し、事故防止委員会での課題にあげて事故防止に努めている。		事故防止委員会は定期的にミーティングを行いその都度報告書をまとめ、管理者に提出している。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応マニュアル、応急手当マニュアルがあり、職員全員に周知徹底している。また、定期的に訓練を行っている。		金刀比羅複合施設内の他部署職員の連携が確立している。協力する意識もあり、体制は整備されている。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	隣接施設や地域の方々に御協力頂き定期的に避難訓練を実施している。		金刀比羅複合施設内の他部署職員の連携が確立している。協力する意識もあり、体制は整備されている。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	御家族には面会時などで出来るだけ情報を差し上げており、常に意向を確認しながら日々の生活を大切にしている。		推進会議にご家族にも参加していただいている。家族会の開催時にリスク対応について資料の提供や対応について話し合いをしている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の健康チェックを欠かさず、早期に体調不良を発見し医療機関につなげている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書はすべて保管しており目的、用法、用量はすべて把握している。疑問があれば主治医や調剤師に問い合わせしている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	入居者の方々に合った飲食物を用意することを実施し、日中は活動的に動いてもらうことで便秘の予防を心かけている。		

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	御自身の状態に合わせ、毎食後に口腔ケアを支援している。また、週に1回訪問歯科による往診があるため異常を発見した場合はその都度受診している。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同法人所属の管理栄養士の指導により栄養バランスのとれた食事を提供している。食事、水分の摂取量は職員がチェックし食事形態は御本人に合わせておかゆや、キザミなど事故に対応している。		食事摂取動作を十分に観察し、自助具の使用や器の工夫をすることで自分の力で食べることができるよう支援している。
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルはスタッフルームに常備している。また、感染の状況により、医師との連携や感染予防委員会からの働きかけにより事故に対応している。インフルエンザの予防接種は御家族の同意を得て毎年実施している。		感染予防委員会を設置し、勉強会を行うことで職員の感染防止に対する意識を高めている。インフルエンザの予防接種は毎年職員全員が行っている。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	管理栄養士の指導のもと、手指や調理器具等は常時消毒を実施している。また、グループホームで作った食材は2週間冷蔵し保管している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりは看板、写真のみだがフロアーの玄関周りには装飾を施し親しみやすさを出し、できる限り家庭に近い雰囲気作りに努めている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には季節に合った花や壁飾りの工夫をし、居心地よい空間作りに勤めている。音の大きさや採血についても不快にならないようこまめに調整している。		

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング内ではくつろげる空間を配置し自由に過ごせる工夫をしている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御自身、御家族の御協力を得て使い慣れた家具を設置したりアルバムや本等を持参して頂き居心地の良い環境を作っている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気には十分に気を配っている。場合によっては加湿器を使用し入居者の皆様の状態に合わせた対応を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	御自身の身体機能に応じ車椅子、歩行器、杖の使用や手すり、ソファの設置で休みながら移動出来るよう工夫している。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	共用のトイレや浴室は目立つような看板、居室には目印になるよう表札や御本人の気に入った飾り等つけている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外周に小さな花壇だの花を植えている。近くに公園があり、池の鯉や鳥にエサを与えに行くのを日課にしている方も居られる。		

グループホーム 金刀比羅

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 金刀比羅

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

今後は、リーダー及び中堅職員が軸となり地域の方々や他事業所との連携を深め、より一層地域に密着した生活を支援できるよう取り組んでいきたい。また秋には「実践発表会」に参加する予定であり、職員全員に役割があり「向上心」と「達成感」を目指して資料等作成している。